

## 第8回 立命館小学校公開授業研究会 最終案内

本校の公開授業研究会への申し込み締め切りも間近に迫ってきました。  
最終案内にて公開内容の詳細をお知らせします。ぜひ、お越しください。

### <モジュールタイムについて>

モジュールタイムのキーワードは  
「スピード」と「リズム」です。

心地よい朝の環境の中で集中力を高めていきます。

一日の学びのスタートには欠かせない大切な時間です。

公開では、百マス計算、詩、論語などの国語科モジュール、京都市や都道府県の特徴をつかむ社会科モジュール、ICT教育には欠かせないタイピングモジュールと、幅広い分野から朝の教育活動を参観していただけます。



### <公開授業について>

各授業では、電子黒板を活用した授業を公開することはもちろんのこと、ICT教育の充実を図る研究を推進しています。特に算数科（3年、5年）、社会科（5年）、理科（4年）ではSurfaceやタブレットPCを大いに活用した授業を公開します。さらには、小学校における英語科教育が話題になっている現教育界の指針を示すべく本校英語科の授業公開も必見です。どの授業にも立命館小学校メソッドがみっちり盛り込まれています。



立命館小学校では、これからの時代を切り拓く子どもの育成をめざし「発見と創造」の授業をテーマに、その研究成果を発信します。

### <講師授業・講話について>

日本の教育を長年にわたって牽引している筑波大学附属小学校の副校長の細水保宏先生による飛び込み授業を2年生の算数科で公開していただきます。なぜに、立命館小学校で筑波大附属小学校の先生が授業を公開するのか。「発見と創造」の授業づくりのプロに学ぶべきところはしっかりと参観の皆様とともに学ぼうというのがコンセプトです。立命館小学校の子どもが、細水先生の授業力によってどんな力を発揮するのが楽しみです。



また、講話では公開授業をもとにしながら、「発見と創造」の学びを中核にご講話をいただきます。これも楽しみです。

### ＜教育対談について＞

立命館大学国際平和ミュージアム館長のモンテ・カセム氏と陰山英男（立命館大学教育開発推進機構 教授・校長顧問 兼任）による教育対談です。

テーマは「グローバル化と立命館の教育」です。学校教育に広がるグローバル化の波を立命館ではどのように乗り越え、先に進もうとしているのか。「日本の教育はこのままでは危ない！」という危機感を察し、明日への希望と活力を生み出す教育対談になればと考えています。

世界を相手に教育活動を進めてきたモンテ・カセム氏と、世界に通用し活躍できる日本の教育をめざしている陰山英男の教育観を実感していただければ幸いです。



第8回の公開授業研究会では、最先端にして力のある教育活動の公開を目指しています。現在、申し込みも北海道から沖縄、隠岐の島といった日本各地からいただいています。

当日は、私たちも先生方にお会いできることを楽しみにしております。

最終案内です。どうぞ、お気をつけてお越しください。